



長岡京市議会議員 大伴まさのり 市議会レポート

# 福祉でまちづくり

第6号

発行人／大伴 雅章 長岡京市八条が丘1-2-3-501  
TEL・FAX 075-951-1133 E-mail m.ohtomo-1133@nkyo.net

## 『市政懇談会』 開催

大伴まさのり が市政について 語ります

日時： 平成15年2月22日(土)  
午後2時30分～4時  
ところ： 中央公民館 2F 講座室

ゲスト： 『若い仲間たち』



29歳で府政をめざす  
中小路 ケンゴさん



28歳で国政を目指す  
泉 ケンタさん

＊お誘いあわせのうえぜひお越しください



# 長岡京市議会議員 大伴まさのり 市議会レポート

## 新聞に載らない、大切なニュース・PART2!

1月に発行しました第5号に書きました障害を持つ方にとっての相談支援事業の一般財源化（国の補助金打ち切り）の問題のその後ですが、厚生労働省は、さらに、障害者ホームヘルプ事業でも方針転換しました。「サービスの上限は設けない」としてきたが、1月初旬に国の補助金の「上限」を設ける方針を打ち出しました。

実は、このことは、多くの重度障害者にとって生存に関する問題なのです。この2つの国の暴挙に対して、乙訓の障害者関係者は立ち上がり、地域生活支援センター「キャンパス」（きりしま苑）のピアカウンセラー（自らも障害を持ちながら相談にのる人）の畑中由美さんらが、全国の仲間と共に、厚生労働省に抗議に行かれました。

私も、この事業の立ち上げに関ったものの1人として、この問題に詳しい友人の衆議院議員やまのい和則さんに連絡を取り、地方の情報を携帯で逐一報告をして、やまのいさんは、予算委員会の休憩時間に坂口大臣をつかまえ、事の重要性を直訴しました。又、私は、小田市長に対し、市として緊急に抗議文を出すように進言したところ、1月27日付で国に対し要望書を提出されました。こうした動きをうけ、国は、一応は取り下げたもののまだまだ、予断は許せない状況であります。国の地方への責任転嫁を許さないよう今後もがんばります。

## 身近なところでの・話題!

### その1

西友から西へ文化会館通にでる北東角。危険です！歩行者と歩行者・歩行者と自転車・自転車同士天神ハイツの方から「何とかならないものか」という申し入れがあり、市にお願いしました。

そういえば、私も何度か「ヒヤ」としたことがありました。2月の13日に市の土木課長さんらが、現地を見ていただき、近日中に何とかするとの回答を得ることができました。



### その2

一里塚の交差点ご存知ですか？

そこから東へ、わずか20mほどですが今まで溝にふたがなく、車が通るたびに、歩行者がぎりぎりよけるといった道でした。私の知り合いの元民生委員さんから、「危ない、何とかしてくれ」と昨年春からいわれていて、やっと、市が、府に何度も要望して（府道でした）このたび、完成しました。

メールアドレス

[m.ohtomo-1133@nkyo.net](mailto:m.ohtomo-1133@nkyo.net)

